



Pick Up News

今回は個人的な話題を。9月に調査研究のためフィンランドに行きました。通常であればロシア上空を通るルートで約10時間なのですが、ウクライナ・ロシアの戦争の影響で往路は北極圏周り、復路は中国大陸横断のルートで+3時間。フィンランドでは、すでにコロナが一般の風邪同様に位置づけられ、マスク着用の義務もなく、普通のコロナ前の生活に戻っていました。コロナに関するニュースも見かけません。もちろん感染する人はいるのですが、特段検査もみませんので、その数は不明です。日本は、第○波だ…などと話していたら、そんな数を数えているのか？と、面白がられました。国が変わればものの見方も変わります。ただ、電気・エネルギー・燃料の高騰、物価の高騰は日本以上かもしれません。冬に向けて、膨大な電気を使用する極寒の北欧ですが、今年は一人ひとりの節電が強く求められているようです。日本は日本の事情と状況があるので、ヨーロッパのようにはいきませんが、少しずつ寛容になってきているような感じもします。とは言え、感染するとそれなりの影響が生活上も身体面も生じます。私自身も8月に経験しましたので…罹らないに越したことはないものではあります。インフルエンザとの同時流行も懸念されています。気をつけて過ごしましょう。寒暖差が激しい秋の日、体調に気をつけて充実した時間を過ごして下さい。■石井



建築設計VI (3年生) では、テーマ別 (都市形成・都市基盤・都市防災・都市機能・都市住居) に地域の調査と分析を行い、設計課題を見つけていきます。



大学院講義 (建築形態論: 錦織・斎藤) の一環で竹中工務店東北支店とコクヨ東北販売を視察しました。コロナ後の働き方や建築設計に関わる職場に触れる機会となりました。



1年生の「建築造形」では、建築空間を設計する基礎となるスケール・配列・空間相互関係について学びます。1回目は教室や校舎で、家具や部位の寸法を測る演習を行いました。



各研究室での卒業研修の研究も本格的に動いています。船木研究室では、岩手県大船渡市に所在する大正14年竣工の鉄筋コンクリート建造物の振動測定を実施しました。

2020年より始まった 建築家・専門家によるレクチャーシリーズ Lecture for young architects. 第15回目となる今回は、まちづくりの現場で、第一線でご活躍の 吉崎典孝 先生 (三井不動産) に「柏の葉スマートシティ」をテーマに特別講義を行っていただきました。

東北工業大学
建築学部
Lecture for young architects
15



日時: 10月26日 (木) 16:50-17:50
場所: 1号館 131教室
対象: 全学年学生 + zoom 申込者 (先着 100人)
申込 URL: <https://forms.office.com/r/aVaTN9W2E>
講義は写真・動画の撮影・録音をご遠慮ください。

吉崎 典孝
三井不動産株式会社 柏の葉まちづくり推進部 事業グループ長
プロフィール
1993年 三井不動産入社
住宅開発、緑地開発などに関わり、2020年より現職。
現在の仕事内容: 「建築家にならないで世界に誇れる世界に誇れる、柏の葉スマートシティの未来像をつくる」に、人間の健康に貢献する。



TRY the Future
建築学部 2022
Lecture for young architects
15

宮城県加美町が主催する「SEA TO SUMMIT」で、大会に先駆けて実施された環境シンポジウムで不破正仁准教授が講演しました。また、基調講演後には、モンベルグループ代表の辰野会長、加美町の猪股町長と不破先生によるクロストークも行われました。



Pick Up Lab.

石井研究室は「建築計画」を専門分野として施設計画研究を行う研究室です。特に身心の弱い人、支援が必要な人のための施設計画と環境づくりが専門で、老人ホーム、障がい者施設や認知症の人のための環境づくりに関わる研究をしています。3年生9名、4年生10名、大学院生2名在籍していて、来年も2名の院進学が決まっています。貴重で限りある大学生活を有意義に、悔いの残らない時間に、最後は笑顔と充実感を感じて卒業してほしいと思い研究室運営をしています。フィールドに出て自分の足と眼で確かめることの重要性や醍醐味、いろいろな人と出会い、関わることから知ることの大切さなどを学んでもらいたいと考えてます。



他大学との合同での調査 (山梨の老人ホームにて)



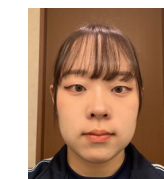
笑顔で卒業! (2022.3)



3年 中村 勇希 くん
花巻北高校 出身

Pick Up Student

私は普通科高校出身のため、初めは建築の専門用語に戸惑い大変でしたが、友達や先輩を頼りながら、日々学びを深められていると感じています。設計課題やレポートに追われ、辛い時期もありましたが、友達と勉強したり、遊んだり、旅行したり、自分の趣味に時間を使ったり、資格勉強を頑張ったり、コロナ禍で制限がある中でもこれまでの大学生活は楽しめた気がします。最近では研究室配属が決まったので、研究室での活動を通して、自分の研究テーマを決め、卒業に向けて頑張りたいです。気づけば大学生活も残り一年半となりましたが、これまで以上にいろいろなことに興味を持ち、目標を定めてチャレンジして、自身の成長に繋がっていききたいと思います。



1年 曽根 爽花 さん
花巻北高校 出身

Pick Up Student

私は一級建築士取得を目標に、東北工業大学に入学しました。前期は、製図がなかなか進まず、高校時代より居残りをしたことが思い出です。提出がギリギリになり大変だと感じることもありましたが、友達と助け合いながら出来たので、より友達との仲も深めることが出来 たと思います。そんな中、スラスラと正確に製図を進めていく工業高校出身の方々を見てす ごいと感じながらも、負けてられない! という気持ちにもなりました。後期でも模型課題 が出され、模型を作る作業が大変です。しかし、毎週のエスキスでアドバイスを頂き、より 自分の納得する模型を作ることが出来ているので、楽しく制作をしています! 一級建築士 取得のため、日々有意義に過ごせるよう頑張ります!